

平成22年度（2010）年度 事業報告

I 共同募金事業

1. 目標設定並びに募金実績・助成実績

(1) 一般募金の計画・実績・助成

10月1日より12月31日まで実施の一般募金の計画（目標額）は、各地域の社会経済状況等を勘案し、必要最小限の福祉活動財源確保を図るべく全道で7億371万1,524円を設定した。（全道・広域使途計画分＝2億5,800万円、市町村地域使途計画分＝4億4,571万1,524円）

募金実績の合計は、6億2,073万1,709円となった。（目標達成率で88.2%）

また、助成については、総額で5億261万146円となり、社会自立を目指す障がい者の働く場（社会的就労という機能をもつ福祉施設や地域共同作業所など）に深刻な影響を及ぼしている状況を憂慮し、作業機器・設備や搬送車両などの整備事業支援に重点をおき、その他、身寄りのない子どもたちや母子・父子家庭への支援、寝たきりの高齢者への食事サービス、独居高齢者宅の声かけ訪問や在宅障がい者などの移送サービス等に助成した。

(2) 歳末たすけあい募金の計画・実績・助成

12月1日より12月31日まで実施している歳末たすけあい募金の計画（目標額）は、市町村ごとに展開される地域歳末計画分として2億4,497万7,000円を設定。

募金実績の合計は、2億5,628万8,865円となった。

また、助成については、2億3,792万8,063円となり、生活困窮世帯・長期療養患者・災害遺児家庭、道内児童福祉施設、不登校児支援施設等への見舞金をはじめ、地域における高齢者や障がい者世帯への在宅福祉サービス事業費として助成した。

2. 本年度の主な広報、顕彰事業

(1) 道内プロスポーツチームとのタイアップ事業

「赤い羽根サポーター宣言」を合言葉にして、昨年を引き続き、北海道日本ハムファイターズ・コンサドーレ札幌・レラカムイ北海道の協力（募金活動や各種イベントへの参加、オリジナルグッズの作成等）により、募金増強に向けた取組みを実施した。

また、道内各地域におけるそれぞれのイベント会場において、「赤い羽根キャンペーン」として募金ブースを設けて、赤い羽根共同募金のPR・募金活動も行った。

(2) 赤い羽根「自動販売機」の設置事業

年間を通じての募金並びに運動啓発が可能な「赤い羽根の清涼飲料水自動販売機」につ

いて、NPO法人並びに飲料メーカー（4社）と連携を図り、赤い羽根のロゴマーク入りの自動販売機を設置した。

(3)運動メインテーマ・ポスターの掲出

本年度の運動メインテーマは、昨年引き続き「じぶんの町をよくするしくみ。」とし、ポスターは、全道の公共施設や福祉センター、イベント会場などを中心に掲出した。



(4)マスコミ媒体を利用した広報事業

i) 新聞媒体を活用した広報の実施

新聞紙面を活用した啓発啓蒙広報事業を実施した。

ii) NHK 並びに民間放送局の協力による広報

NHKや民放各局の協力により、テレビスポットCMや、ラジオスポットCM素材の放送を10月1日からの運動期間中に実施した。

また、12月1日には、NHK札幌放送局ロビーにおいて歳末たすけあいセレモニーを実施し、歳末たすけあい募金への協力の呼びかけを行った。

iii) 街頭大型液晶ビジョンによる広報

街頭大型液晶ビジョンを利用して、運動期間中に共同募金テレビスポットの放映を実施した。

iv) 道内マスコミ・道政記者クラブへの資料配布

運動開始前に道政記者クラブに対して報道向け資料を配布(プレスリリース)し、個々の新聞社に対しては、取材要請、記事掲載等要請した。

(5)各種啓発イベントの実施・関係機関団体への情報提供

i) 「みんなあーと2010」【9月22～26日、札幌市】

ii) 「赤い羽根小曲邦舞の会」への協賛【10月10日・道新ホール】

iii) 「赤い羽根ティールボール北の甲子園大会北海道知事 CUP」の活動支援

【11月21日・札幌ドーム】

iv) 道社会福祉協議会広報誌との連携・市町村への働きかけ

(6)広報先発行事の実施

i) 赤い羽根空の第一便及び名士による街頭募金

全日本空輸(株)の協力により、10月1日に厚生労働大臣・中央共同募金会長のメッセージと赤い羽根が空の第一便として届けられ、北海道副知事並びに共募会長らに手渡されたあと、副知事、札幌市保健福祉局衛星研究所長(市長代理)といった名士をはじめ、北海道フットボールクラブ社長並びにコンサドーレ札幌のマスコットキャラクターの「ドーレ君」やレラカムイ北海道のマスコットキャラクターの「クィッキー」、また、ねんりんピック 2009 北海道札幌のマスコットキャラクターの「うっさん」も応援に駆け



つけ、道行く市民に運動への協力の呼びかけを行った。

そのほか、千歳・函館・釧路・稚内・旭川・女満別・中標津等の各空港所在地においてもそれぞれ伝達式を実施し、各市長・町長並びに地元共同募金会長にもメッセージを手渡した。

ii) 道内各地において街頭啓発活動等の実施

各地で、街頭募金・啓発活動を実施するとともに、昨年に引き続き募金及び広報活動について企業・商店等の参加と協力を促すため、「赤い羽根協力店」の設置及び普及を図り、百貨店・スーパーマーケット・商店事業所等に協力店看板または協力店ステッカー及び募金箱を設置し、多くの協力をいただいた。

(7) ホームページによる情報提供

道民に向けた情報提供チャンネルとして、随時更新を行い、特に道内プロスポーツチームのタイアップ事業に係るチームごとの各種イベント活動や協力状況等々を掲載し、共同募金ニュースとして、今年度のポスターやテレビCMの紹介、各種イベント情報、助成金のお知らせ、ありがとうメッセージ、また目標額や実績額等の公表等々について、データの追加や更新を行い、各種情報提供機能の充実を図った。

(8) 顕彰の実施

i) 本会会長表彰

本会の顕彰規程に基づいた会長表彰について、9月9日、札幌市教育文化会館にて北海道社会福祉大会を開催し、表彰状並びに記念品を贈呈した。

◎総受彰者：260件

- ・永年勤続奉仕者・・・154名
- ・優秀地区・団体・・・63団体
- ・永年勤続従事者・・・15名
- ・優良学校・・・・・・・・13校
- ・高額寄付者・・・・・・・・15件(個人：4名・団体：11団体)



ii) 中央共同募金会会長表彰

中央共同募金会における顕彰規程に基づいた会長表彰について、11月5日、全国社会福祉大会を開催し、表彰状並びに記念品を贈呈した。

◎総受彰者：14件

- ・共同募金運動奉仕功労者 8名
- ・優秀地区・団体 3団体
- ・共同募金運動従事功労者 3名

iii) 高額寄付者に対する厚生労働大臣感謝状

高額寄付者(個人100万円以上500万円未満、法人・団体300万円以上1,000万円未満)

に対する感謝では、1名の推薦を行い、該当する共同募金委員会を通じて、感謝状を贈呈した。

iv) 高額寄付者に対する紺綬褒章

高額寄付者(個人では500万円以上の現金または評価額が500万円以上の物件の寄付、団体では1,000万円以上の現金または評価額が1,000万円以上の物件の寄付)に対する栄典では、個人1名の上申を行った結果、発令授賜され該当する共募委員会を通じて、褒状と褒章を贈呈した。

v) 運動功績者に対する感謝状

当該年度の共同募金運動に功績のあった奉仕者並びに役職員、団体及び学校に対する感謝では、3月25日、平成22年度第2回評議員会の席上において、全道よりの代表者に対して、本会会長より表彰状・記念品を授与した。

◎総受彰者:115件

・個人～32名 ・団体・学校～83校

II 会務運営

(1) 理事会の開催

- ア) 第1回(平成22年5月27日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成22年8月6日、かでの2・7で開催)
- ウ) 第3回(平成23年3月24日、かでの2・7で開催)

(2) 評議員会の開催

- ア) 第1回(平成22年5月28日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成23年3月25日、北農健保会館で開催)

(3) 正副会長会議

- ア) 第1回(平成22年5月14日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成22年11月29日、かでの2・7で開催)
- ウ) 第3回(平成23年3月9日、かでの2・7で開催)

(4) 監査(監事監査)

- ア) 第1回(平成22年5月12日、かでの2・7で開催)
- イ) 第2回(平成22年11月24日、かでの2・7で開催)
- ウ) 第3回(平成23年3月8日、かでの2・7で開催)

III 民間社会福祉資金の総合調整

中央競馬馬主社会福祉財団助成事業等への推薦業務を行った。

また、共同募金以外の特定指定寄付金の受入れ並びに助成も実施した。